

令和 6 年度第 2 回 少年自然の家運営委員会

日 時 令和 7 年 2 月 20 日 (木) 午前 10 時 30 分
場 所 水戸市少年自然の家 小研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 令和 6 年度利用状況について
 - (2) 令和 6 年度主催事業について
- 4 協 議
 - (1) 令和 7 年度運営方針 (案) について
 - (2) 令和 7 年度事業計画 (案) について
- 5 その他
- 6 閉 会

3 報告

(1) 令和6年度利用状況について

ア 滞在日数別利用状況

滞在日数別利用者数				実人数	延人数	稼動 日数
1日	1泊2日	2泊3日	3泊4日 以上			
3,779	7,395	416	0	11,590	19,908	199

イ 対象別利用状況

対 象	幼・保	小学校	中学校	少年団体	その他	合 計
団体数	21	68	7	39	53	188
実人数	799	4,880	812	1,926	3,173	11,590

ウ 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
団体数	11	16	25	22	23	25
実人数	717	1,217	1,572	952	1,194	1,052
月	10月	11月	12月	1月		
団体数	28	22	10	6		
実人数	2,115	1,423	689	659		

エ 年度別利用状況

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度 (見込み)
団体数	246	90	122	151	175	208
実人数	13,365	5,013	7,587	8,392	8,972	12,725
延人数	26,319	5,896	10,184	13,813	15,611	22,226

(2) 令和6年度主催事業について

※ /は、中止、延期した事業

行事名	期日	人数	内容等
四季の体験学習① (市森林公園共催)	5月25日(土)	募集 小学4～6年生 50名 応募 24名 参加 22名 (男10名, 女12名)	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りや収穫体験をする。 ・田植え体験
ウォーターロケットプロジェクト①	6月30日(日)	募集 小学4～中学生 30名 応募 20名 参加 15名 (男10名, 女5名)	体験を通してロケットが飛ぶ仕組みを学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。 ・基本形ロケット製作
サマーキャンプ	7月24日(水)～7月25日(木)	募集 小学4～6年生 54名 応募 104名 参加 53名 (男26名, 女27名)	キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。 ・テント設営 ・竹細工
宇宙探検	8月24日(土)～8月25日(日)	募集 小学4～6年生とその家族 14家族 応募 18家族 54名	ペットボトルロケット作りや天体観測の活動を通して、科学や宇宙の素晴らしさに気付かせる。 ・ウォーターロケット製作 ・天体観測
ウォーターロケットプロジェクト②	8月10日(土)	参加 15名 (男9名, 女6名)	・パラシュート付きロケット製作
四季の体験学習② (市森林公園共催)	10月6日(日)	参加 17名 (男8名, 女9名)	・稲刈り
ウォーターロケットプロジェクト③	9月28日(土)	参加 14名 (男8名, 女6名)	・ダブルタンク式ロケット製作
四季の体験学習③ (市森林公園共催)	10月27日(日)	参加 21名 (男10名, 女11名)	・収穫祭(餅つき体験)
秋の味覚狩り	11月9日(土)	募集 小学生とその家族 12家族 応募 49家族 122名 参加 33名 (男10名, 女23名)	自然観察や秋の作物を収穫する活動を通して、秋の自然や味覚を満喫し、親子の心のふれあいを深める。 ・りんご狩り ・アップルパイ作り

行事名	期日	人数	内容等
ウォーターロケットプロジェクト④	11月16日(土)	参加 14名 (男8名, 女6名)	・二段式ロケット製作
家族でクリスマスリース作り	12月8日(日)	募集 小学生とその家族 10家族 応募 10家族 30名 参加 26名 (男7名, 女19名)	自然の家周辺で採取した材料でリースを作成する。
スターハウス	12月14日(土)～12月15日(日)	募集 小学4～6年生とその家族 15家族 応募 27家族 77名参加 37名 (男14名, 女23名)	天体観察の活動を通して, 壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。
家族でミニ門松作り	12月22日(日)	募集 小学生とその家族 10家族 応募 19家族 54名 参加 25名 (男10名, 女15名)	竹を切ったり, 飾付を考えたり家族力をあわせて行うことで, 親子でのコミュニケーションの場を設け, 親子の絆を深める。
家族で本気の笠間焼②	1月14日(日)		本格的な笠間焼作りの体験を親子で実施。
家族で焼き芋+飾り炭を作ろう	1月25日(土)	募集 小学4～6生とその家族 10家族 応募 12家族 33名 参加 26名 (男11名, 女15名)	家族で焼き芋を焼いたり, 木の実などを使った飾り炭を作る。
ネイチャーデイキャンプ①(家族でダッチオーブンを使ってパンを焼こう)	2月15日(土)	募集 小学生とその家族 6家族 応募 11家族 33名 参加 17名 (男9名, 女8名)	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで, 親子でのコミュニケーションの場を設け, 親子の絆を深める。
ネイチャーデイキャンプ②(家族でダッチオーブンを使ってパンを焼こう)	3月15日(土)予定	募集 小学生とその家族 6家族 応募 15家族 46名参加予定 17名 (男7名, 女10名)	親子でダッチオーブンを使った調理活動に取り組むことで, 親子でのコミュニケーションの場を設け, 親子の絆を深める。

4 協議

(1) 令和7年度運営方針（案）について

ア 運営方針

近年、自然に親しむ機会が減少しつつある子どもたちに、里山の自然の中で野外活動を体験させるなどして、情操や社会性を豊かにするとともに、生命や自然を尊重し、環境を大切に作る心を育てる。

また、集団生活により、社会生活に必要な規律・友愛・協同・奉仕の精神を育て、未来をリードする心豊かな青少年の育成に努める。

イ 利用促進方策について

子どもたちの心身ともに健やかな成長に向けて、地域特性を生かしたプログラムを展開し、自然体験活動の拠点としての機能充実に努めるとともに、関係団体との連携によりさらなる利用者数の増加を図る。

施策の方針と取組の柱

- 現代的な教育課題への対応
 - ①体験活動プログラムの充実
 - ②野外教育の充実
 - ③人間関係づくりなど重要課題への対応
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ①立地資源を生かした特色ある事業展開
 - ②地産地消の推進
 - ③天体観測の推進
- 利用校、利用対象の拡大
 - ①周知・利用の拡充
 - ②研修の充実
 - ③受入環境の充実
- 関係団体等との連携強化
 - ①自然体験コーディネート機能の強化
 - ②人的資源の活用

ウ 事業について

利用促進方策に掲げる四つの方針や各方針に掲げる取組の柱、さらには利用者からの要望などを踏まえながら、事業の強化・充実に努めていく。

- 現代的な教育課題への対応
 - ・コミュニケーション能力を高めるグループワークの実施
 - ・試練、チャレンジの機会を与える体験活動の実施
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ・地元農産物の栽培体験や調理体験事業の実施
 - ・地域食材を活用した食事の提供
 - ・天体観測事業の推進
- 利用校、利用対象の拡大
 - ・ホームページ等の充実
 - ・周知範囲の拡大（高等学校、大学、行政機関等）
 - ・所外での出前講座等の実施
- 関係団体等との連携強化
 - ・青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致
 - ・発明クラブなどの各団体とのネットワークの構築
 - ・地域団体等との連携による事業の実施

(2) 令和7年度事業計画(案)について

ア 主催事業

行事名	期日	内容等	自然 野外	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
地域連携事業 四季の体験学習 (市森林公園との共催)	① 田植え 5月17日(土) ② 稲刈り 10月5日(日) ③ 収穫祭 10月26日(日)	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りや収穫体験をする。	○		○	○	
ウォーターロケットプロジェクト (ステージⅠ～Ⅳ)	① 6月29日(日) ② 8月3日(日) ③ 9月28日(日) ④ 11月22日(土)	体験を通してロケットが飛ぶ仕組みを学び、宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。		○		○	
サマーキャンプ	7月24日(木)～25日(金)	キャンプ生活や野外活動を通して、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。	○			○	
スタープロジェクト 宇宙探検	8月16日(土)～17日(日)	ペットボトルロケット作りや天体観測の活動を通して、科学や宇宙への関心を高める。	○	○			○
地域連携事業 秋の味覚狩り	11月9日(日)	自然観察や秋の作物を収穫する活動を通して、秋の自然や味覚を満喫し、親子の心のふれあいを深める。	○		○		○
親子創作事業 家族でクリスマスリース作り	11月30日(日)	自然の家周辺で採取した材料でリースを作成する。		○			○
スタープロジェクト スターハウス	12月13日(土)～14日(日)	天体観測の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。	○	○			○

行事名	期日	内容等	自然 野外	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
親子創作事業 家族でミニ門松作り	12月20日(土)	竹を切ったり、飾付を考えたり家族力をあわせて行うことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。		○			○
親子調理事業 家族でじゃがバター+飾り炭を作ろう	1月24日(土)	かまどの火を用いて、じゃがいもを焼いたり、木の実などを使った飾り炭を作る。 また、バターを手作りし、じゃがバターとして楽しむ。	○	○			○
親子調理事業 ネイチャーデイキャンプ	①2月14日(土) ②3月14日(土)	親子でダッチオーブンや丸型飯ごうを使った調理活動等に取り組むことで、親子でのコミュニケーションの場を設け、親子の絆を深める。	○				○

イ 共催事業 **新**

行事名	期日	内容等	自然 野外	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
ヤマネ&リリー マルシェ 共催団体 (株)ウォーターリー 山根自治連合会	8月・1月 (計画中)	地域団体等が集うマルシェで、少年自然の家の紹介や、活動プログラムの体験コーナーを実施する。			○	○	○

ウ 体験活動プログラム出前事業 **新**

行事名	期日	内容等	自然 野外	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
体験活動プログラム出前事業	通年	少年自然の家の体験活動プログラムを、希望に応じ、所外で実施する。			○	○	○

水戸市少年自然の家運営委員会委員名簿

(順不同)

氏 名	役 職	備 考
小 林 克 行	石川中学校校長	
細 谷 康 之	酒門小学校校長	
関 口 一 治	見川小学校校長	
石 川 聡	赤塚中学校校長	
齊 藤 秀 一	水戸市子ども会育成連合会会長	
木 村 政 守	水戸市ボーイスカウト・ ガールスカウト連絡協議会書記	
青 柳 直 子	茨城大学教育学部教授	
松 橋 義 樹	常磐大学人間科学部准教授	
園 部 順	山根自治連合会会長	
笹 島 武	公募（一般市民）	

任 期 令和5年7月8日～令和7年7月7日